

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)(案)

令和 年 月 日

協議会名:東温市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
伊予鉄バス株式会社	白猪滝口～東温市役所【河之内線の一系統】(※車両減価償却費等国庫補助金交付系統)4系統で1台購入(平成24年度)	定期的に利用者数を調査し、状況把握に努めるとともに、公共交通ガイドの配布や、広報誌への公共交通に関する情報の掲載、転入者へのモビリティマネジメントを実施するなど、利用促進に繋がるような取組を引き続いて行った。また、高齢者サロンにも足を運び、路線バスの状況の周知及び利用の促進を行った。	A	計画通り事業は適切に実施された。	B 横河原駅での路線バスと鉄道の接続時間10分以内という目標を全体の便のうち89%の便で達成することができたが、一部山間バス路線で利用者数が減少し、1便あたりの利用者数3人以上を達成することができなかった。	引き続き定期的な利用者数の調査を行い、状況把握に努めるとともに、目標である1便あたり3人以上を達成できるように、広報誌での公共交通に関する情報の掲載や、転入者へのモビリティマネジメントを引き続き行う。また、高齢者サロン等の場に足を運び、利用状況の周知並びに公共交通ガイドの配布等により、公共交通の利用を促せるよう努める。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名:	東温市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>東温市は愛媛県の中央部に広がる松山平野の東部に位置し、人口は34,652人、世帯数は13,980世帯(平成27年国勢調査)、面積は約211km<sup>2</sup>で、市域の約3/4が山林となっている。また、県庁所在地である松山市に隣接しており、松山市との関係は通勤通学や買物など日常生活において密接なものとなっている。</p> <p>また、市内の公共交通については、平野部では本市と松山市を結ぶ鉄道とバス路線、山間部では、交通結節点である伊予鉄道横河原駅を基点としてバス路線が運行している。</p> <p>これらの状況を踏まえ、平成27年度に策定した東温市地域公共交通網形成計画において、地域公共交通の現状・問題点・課題の整理し、公共交通ネットワーク全体を一体的に形作り、持続させていくことを目指している。</p>



# 市内山間バス路線利用状況

【資料2】

調査期間		平日	土曜	備考
再編後	H29.5	H29.5.22~6.2	10日	なし
	H29.11	H29.11.6~17	10日	なし
	H30.5	H30.5.14~25	10日	なし
	H30.10	H30.10.15~26	10日	なし
	R1.5	R1.5.13~24	10日	なし
	R1.10	R1.10.14~25	10日	なし

※前回調査と比較して増加 (↗) 減少 (↘) 増減なし (→)

## ■山間部全体(発24⇒15、着22⇒14)

山間部発	利用者数	
	1日	1便
H29.11	48.8 ↗	3.3 ↗
H30.5	43.4 ↘	2.9 ↘
H30.10	41.5 ↘	2.8 ↘
R1.5	42.0 ↗	2.8 →
R1.10	33.6 ↘	2.2 ↘

山間部着	利用者数	
	1日	1便
H29.11	51.5 ↗	3.8 ↗
H30.5	35.9 ↘	2.6 ↘
H30.10	36.9 ↘	2.6 →
R1.5	34.1 ↘	2.4 ↘
R1.10	32.4 ↘	2.3 ↘

合計	利用者数	
	1日	1便
H29.11	100.3 ↗	3.5 ↗
H30.5	79.3 ↘	2.7 ↘
H30.10	78.4 ↘	2.7 →
R1.5	76.1 ↘	2.6 ↘
R1.10	66.0 ↘	2.3 ↘

## ■松瀬川線(発4⇒3、着4⇒3)

松瀬川発	利用者数	
	1日	1便
H29.11	13.3 ↘	4.4 ↘
H30.5	12.8 ↘	4.3 ↘
H30.10	11.5 ↘	3.8 ↘
R1.5	10.6 ↘	3.5 ↘
R1.10	9.1 ↘	3.0 ↘

松瀬川着	利用者数	
	1日	1便
H29.11	11.1 ↗	3.7 ↗
H30.5	9.4 ↘	3.1 ↘
H30.10	8.4 ↘	2.8 ↘
R1.5	8.9 ↗	3.0 ↗
R1.10	7.0 ↘	2.3 ↘

合計	利用者数	
	1日	1便
H29.11	24.4 ↘	4.1 ↘
H30.5	22.2 ↘	3.7 ↘
H30.10	19.9 ↘	3.3 ↘
R1.5	19.5 ↘	3.3 →
R1.10	16.1 ↘	2.7 ↘

## ■滑川線(発5⇒5、着4⇒4)

滑川発	利用者数	
	1日	1便
H29.11	13.0 ↗	2.6 ↗
H30.5	11.5 ↘	2.3 ↘
H30.10	12.4 ↗	2.5 ↗
R1.5	11.3 ↘	2.3 ↘
R1.10	7.3 ↘	1.5 ↘

滑川着	利用者数	
	1日	1便
H29.11	20.0 ↗	5.0 ↗
H30.5	8.1 ↘	2.0 ↘
H30.10	11.4 ↗	2.9 ↗
R1.5	8.5 ↘	2.1 ↘
R1.10	7.9 ↘	2.0 ↘

合計	利用者数	
	1日	1便
H29.11	33.0 ↗	3.7 ↗
H30.5	19.6 ↘	2.2 ↘
H30.10	23.8 ↗	2.6 ↗
R1.5	19.8 ↘	2.2 ↘
R1.10	15.2 ↘	1.7 ↘

## ■井内線(発5⇒3、着5⇒3)

井内発	利用者数	
	1日	1便
H29.11	5.2 ↗	1.7 ↗
H30.5	5.5 ↗	1.8 ↗
H30.10	4.1 ↘	1.4 ↘
R1.5	3.2 ↘	1.1 ↘
R1.10	3.4 ↗	1.1 →

井内着	利用者数	
	1日	1便
H29.11	10.0 ↗	3.3 ↗
H30.5	7.8 ↘	2.6 ↘
H30.10	8.2 ↗	2.7 ↗
R1.5	6.6 ↘	2.2 ↘
R1.10	6.5 ↘	2.2 →

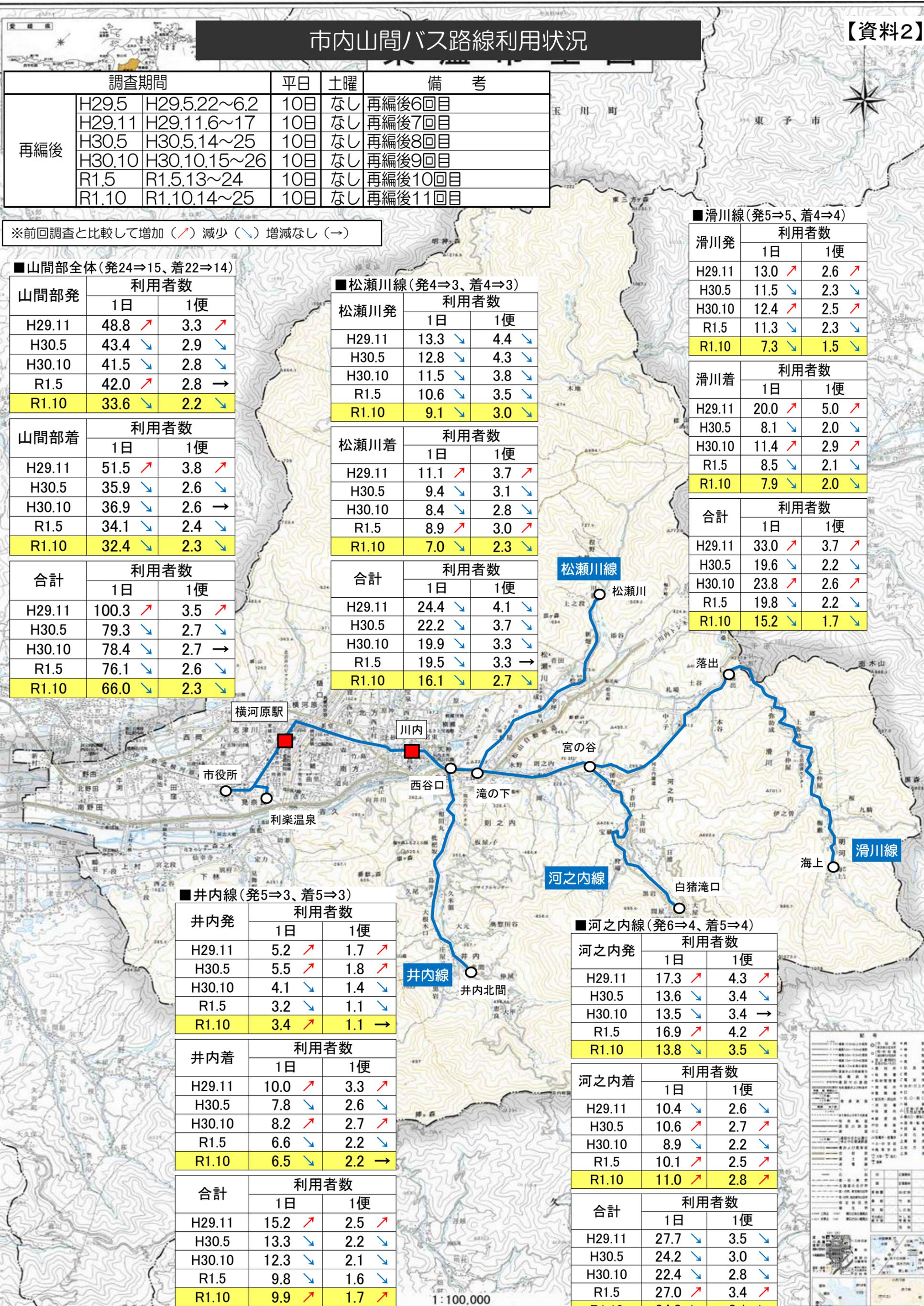
合計	利用者数	
	1日	1便
H29.11	15.2 ↗	2.5 ↗
H30.5	13.3 ↘	2.2 ↘
H30.10	12.3 ↘	2.1 ↘
R1.5	9.8 ↘	1.6 ↘
R1.10	9.9 ↗	1.7 ↗

## ■河之内線(発6⇒4、着5⇒4)

河之内発	利用者数	
	1日	1便
H29.11	17.3 ↗	4.3 ↗
H30.5	13.6 ↘	3.4 ↘
H30.10	13.5 ↘	3.4 →
R1.5	16.9 ↗	4.2 ↗
R1.10	13.8 ↘	3.5 ↘

河之内着	利用者数	
	1日	1便
H29.11	10.4 ↘	2.6 ↘
H30.5	10.6 ↗	2.7 ↗
H30.10	8.9 ↘	2.2 ↘
R1.5	10.1 ↗	2.5 ↗
R1.10	11.0 ↗	2.8 ↗

合計	利用者数	
	1日	1便
H29.11	27.7 ↘	3.5 ↘
H30.5	24.2 ↘	3.0 ↘
H30.10	22.4 ↘	2.8 ↘
R1.5	27.0 ↗	3.4 ↗
R1.10	24.8 ↘	3.1 ↘



## 令和2年度取組概要（案）

予算を伴う事業については、令和2年度東温市当初予算案に計上しており、これらの事業については、予算の成立を前提として現時点で予定している内容となります。

### 1. 東温市地域公共交通網形成計画の改定

#### (1) 内容

平成27年度に策定し、令和2年度に計画期間の5年目を迎える東温市地域公共交通網形成計画の達成状況を確認し、その結果を踏まえて計画の改定を行う。

### 2. 川内インターチェンジ高速バス停駐車場案内標識の設置

#### (1) 内容

案内が不足している、川内インターチェンジ高速バス停駐車場への案内標識を設置する。

#### (2) 設置予定場所

県道伊予川内線（四国乳業(株)愛媛支店の前の道）から川内インターチェンジ高速バス停へ向かう、市道竹ノ鼻2号線上を予定。

### 3. 公共交通情報冊子の作成

#### (1) 内容

平成28年度に作成した公共交通情報冊子の掲載内容に変更が生じているため、市内の公共交通情報をまとめた新しい公共交通情報冊子を作成し、市民や来訪者に対して情報発信を行うとともに、公共交通の利用を呼びかける内容を掲載し、利用促進の働きかけをあわせて行う。

#### (2) 作成部数

約2,000部（A4サイズ・10頁程度）

#### (3) 配布場所（予定）

- ◆市内鉄道駅・川内バスターミナル
- ◆商業施設、観光施設、医療機関
- ◆市役所（転入窓口）、公共施設

### 4. モビリティ・マネジメントの推進

#### (1) 内容

新しく東温市へ転入した世帯を対象に、市民課窓口にて「公共交通の情報が必要」と答えた人に対して最寄り駅の地図や時刻表等の情報を記載した案内を送付し、公共交通の利用促進に努める。

### 5. 公共交通ニュースの掲載

#### (1) 内容

東温市の広報に「公共交通ニュース」として、公共交通に関する情報を継続して掲載する。

## 6. 子どもバス教室の開催

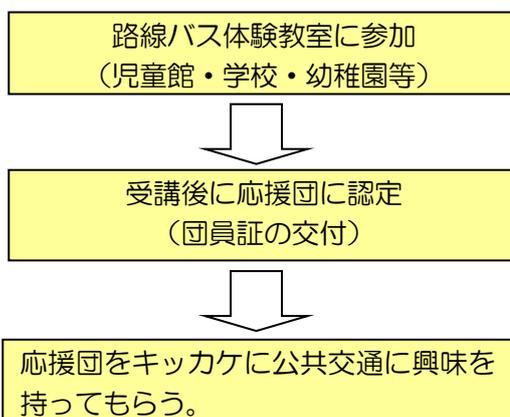
### (1) 内容

東温市独自の制度として平成26年度に創設した「バス応援団認定制度」と子どもを対象とした路線バス体験教室を組み合わせて実施し、子どもたちに公共交通に対して親近感を持ってもらうための取組を推進する。

＜路線バス親子体験教室の様子＞



＜バス応援団認定の流れとその活動＞



※東温市地域公共交通網形成計画において位置付けているその他の取組についても  
随時検討・実施を行う。